

多彩なサイドイベント

3月16～18日に徳島市のアスティとくしまで開かれた日本水環境学会第50回年会（3月31日付一部既報）では、学生や若手会員向けの各種セミナーやテクニカルミーティングなど多彩なサイドイベントが催された。一部の様子を紹介する。

海外での経験を披露

若手の会・JapaniYWP

日本水環境学会の若手の会とJapaniYWPは3月16日、同学会の年会に併せてセミナーを開いた。テーマは「若手研究者の海外留学～サバイバル体験記～」。約50人が参加する中、共同代表を務める国立環境研究所の小野寺崇氏がJapa

n-YWPの概要を説明、土木研究所の武田文彦氏、北海道大学大学院の北島正章氏が自らの海外での経験を披露した。武田氏は東北大学大学院の博士研究員を経て、約1年半にわたり韓国の啓明大学で教鞭を取った経験を説明。出席した

若手研究者に対して、海外への挑戦を呼びかけたほか、将来のイメージを持ち研究に取り組むようアドバイスした。

北島氏は東京大学大学院の博士課程修了後、アメリカのドレクセル大学での短期留学、アリゾナ大学やマサチューセッツ工科大学がシンガポールに設置した研究センターでの約5年間に及ぶ博士研究員の経験や得られた成果を説明。海外での研究を考えている若手に対して、目的を明確にするなどのアドバイスを送った。講演後には海外進出に当たって日本で取り組むべきことなど、率直な意見交換を行った。



武田氏



北島氏